

にほんいさんていきねん
日本遺産認定記念



ひのみさきたいけん
まるごと回御碕体験

なぞと
謎解き
おやこ
親子ツアー

なぞと
謎解きガイドブック



もくじ

- 1.....もくじ
- 2.....おねがい
- 3.....キットの内容ないよう
- 4.....ミッション
- 5.....Aのなぞ
- 6.....Bのなぞ
- 7.....Cのなぞ
- 8.....Dのなぞ
- 9.....日本遺産「にほんいさん日ひが沈しずむ聖せい地ち 出雲いずも」こうせいぶんかざい構成文化財
- 11.....じんじゃ神社ととうだい灯台だけじゃない！ひのみさき日御碕みりよくの魅力
- 12.....ゆうひ夕日といずも出雲



おねがい

- 海の近くなど、危ないところには行かないでください。
 - ほかの参加者に、「なぜ」の答えを教えしないでください。
 - 謎解きには、日御碕の観光スポットやお店が関係する場合がありますが、民家は一切関係ありません。民家には立ち入らないでください。
 - 灯台の参観は、のぼりおりを含めて、30分程度かかります。謎解き中に灯台を参観する場合は、計画的に行ってください。
- (参観料：大人 200 円、小学生以下：無料)



キットの内容

謎を解くためには、次のものが**必要**です。

なくした場合、謎が解けなくなる**可能性**があります。

なくさないように**注意**してください。



まるごと日御碕体験
謎解き親子ツアー ガイドブック
※この本です



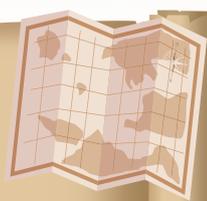
日御碕マップ



クリップ付きペンシル
※えんぴつの芯がついている筆記用具です



ミッション



～ひみつの^{ことば}言葉を^{みちび}導きだせ～

- ◆4つの^{なぞ}謎を^と解き、キーワードを^み見つけ^だ出せ。
- ◆^み見つけたキーワードを、このページの^{した}下の^{らん}欄に^か書け。
- ◆A、B、C、D、^{はじ}どこから始めてもよい。

C (アイテム) を A と

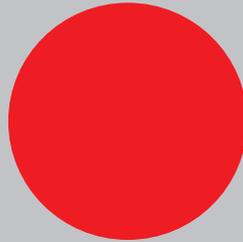
B にあわせて、^{やじるし}矢印が^さ指し^{しめ}示す^{たてもの}建物に^{はい}入れ。

そこで^う受け^と取った D を、もうひとつの

D と^{かさ}重ね^あ合わせろ。

すべてを^{じっこう}実行したとき、^{ひみつ}秘密の^{ことば}言葉が^わ分かるだろう。

Aのなぞ



□には何が入る？

ヒント：日御碕神社

日御碕神社とは？・・・神社には、スサノオを祀る「神の宮（上の宮）」とアマテラスを祀る「日沉宮（下の宮）」があります。太陽神アマテラスは、出雲では夕日を象徴しているため、日沉宮は日が沈む聖地の宮とされるようになりました。また、今の建物は、江戸幕府3代将軍徳川家光の命令により建てられ、厄除けや縁結びのご利益があるとされています。

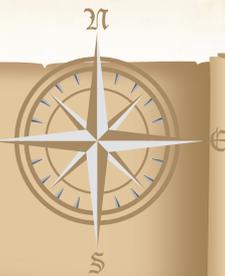
Bのなぞ



この写真の場所に行って、
と
なぞを解け

スサノオ・・・神話では、スサノオが出雲国の国造りを終えた後、
黄泉の国から「私の魂はこの柏葉の止まる所にしずめよう。」と柏の
葉を投げて占ったところ、柏葉は風に舞い日御碕神社背後の「隠ヶ
丘」に止まったと言いつえられています。

Cのなぞ



スタート^{ばしょ}場所で、次の^{かだい}課題を2つとも
クリアして、アイテムをゲットせよ

①^{かい}貝がらで^{こうさく}工作をせよ

②サザエの^{かい}貝がらを5^{こつ}個^あ積み上げよ (2つ)

^{かだい}課題をクリアしたらチェックをしてもらい、^{さいご}最後に

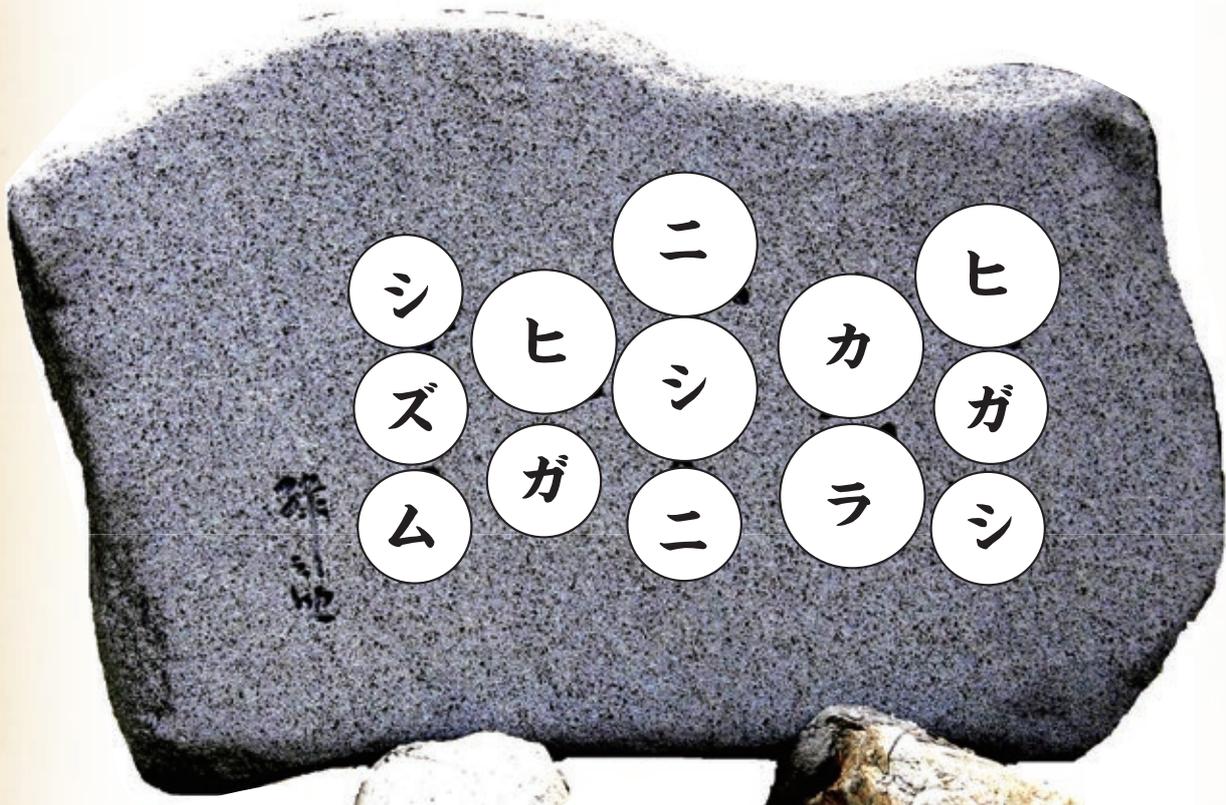
アイテムをもらおう

①^{かい}貝がら^{こうさく}工作

②サザエの^{かい}貝がら^つ積み^あ上げ

→ **アイテムゲット**

Dのなぞ



ばしよよ
カラの場所を讀め

いなさのおばま

ひのみさき

ひのみさきじんじゃしゃでん

かみのみや

ふでなげじま

いずもひのみさきとうだい

つきよみしゃ

ふみしま

いずものくにふどき

しろいとおどしよろい

みゆきしんじ

うりゅう・ごんげんじま

つぶて

いわ



そののながはま

かみむかえしんじ

おおどちかぐら

ながはまじんじゃ



かんどがわかこう

いずもたいしゃほんでん ほか

さぎうら

びょうぶいわ



いのめどうくつつぶつほうがんそう

じんじゃ とうだい ひのみさき みりよく 神社と灯台だけじゃない！日御碕の魅力

○ふみしま 経島

ウミネコが子育てをする場所として有名で、国の天然記念物に指定されています。ウミネコは毎年11月中旬から12月上旬にやってきて、次の年の7月中旬までここで暮らし、また北の方に飛び立ちます。

また、この島は、神職以外入ることができない神聖な島です。毎年8月には、夕日のお祭りと言われる「神幸神事」があり、夕方になると、日御碕神社の神主が経島に渡り、神事が行われます。

○はくりょうえん 柏陵園

海岸沿いに、海からの風に耐え、倒れるようにして生える松の林を柏陵園と呼んでいます。近くには夕日スポットの展望台もあり、そこからはとても美しい夕日を見ることができます。

○いずもまつしま 出雲松島

灯台下から北側に進むと見える入り江には、波の浸食などによって造られた独特な形の島々が形よく並んでいます。その景色の美しさから、日本三景の一つの松島にちなんで、「出雲松島」と呼ばれています。

○うみ さち 海の幸

日御碕には、海の幸が食べられる商店やお食事処がたくさんあります。店先を通ると、いか焼きやさざえのつぼ焼きなどの香ばしいにおいがします。また、お食事処では、地元で採れた旬の海の幸を使った「みさき丼」などの海鮮丼も食べることができます。

ゆうひ いずも 夕日と出雲

昔、日本の政治の中心であった大和（今の奈良県）から見ると、太陽は北西の出雲に沈みます。このことから、日が沈む出雲は「海の彼方の異界につながる地」として認識されていたと考えられます。今から1300年前の奈良時代に書かれた『古事記』や『日本書紀』で、出雲が「黄泉国（死者の世界）」と「地上の世界」をつなぐ地として描かれているのは、昔の人々が出雲を「日が沈む地」とイメージしていたからかもしれません。

現在でも、出雲では夕暮れ時のあいさつとして「ばんじまして」という方言が使われています。他の地域ではあまり耳にしない「こんにちは」と「こんばんは」の間を結ぶあいさつであり、出雲の人々が、夕暮れ時に特別な思いを抱いていたことがわかります。

この地の人々は、海岸線と夕日がつくり出す美しい夕景は神によって作り出されたと感じてきたことでしょう。みなさんも、出雲の海岸線に立って海に沈む美しい夕日を眺め、日が沈む聖地出雲の歴史を感じてみてください。



いずも し にほん いさんすいしんきょうぎ かい
出雲市日本遺産推進協議会

にほん いさん みりよくほっしんすいしんじぎょう
(日本遺産魅力発信推進事業)

大好きな出雲!
IZUMO